

# ウィル おじさん



会場でお待ちしております♡

○今年度から「ウィルプラス」は7月・12月・3月の発行になりました。8月末には恒例の映画祭が開催されますが、巻頭寄稿は昨年からのコーディネーターをお願いしている齊藤綾子さんです。その他の記事とも併せ、ご意見ご感想をお待ちしています。  
○「ウィルプラス」は、県内の図書館や女性センター等で配布しています。財団ホームページからもご覧いただけます。また、定期購読も可能です。詳しくは電話でお問い合わせください。

## 表紙グラフ説明

平成24年12月に発行された内閣府男女共同参画局の「女性の政策・方針決定参画状況調べ」から作成したグラフです。日本の国会議員に占める女性の割合(24年10月末現在)は、なんと世界で143位、率にして10%を少し超えた値です(でも意外なことにアメリカも95位)。企業などで管理的な職業に就く女性の比率も11%と、先進国といわれる中では低い日本。女性の声が届くのは、まだまだ先ということでしょうか。

## 愛知県女性総合センター(ウィルあいち)のご案内

### 開館時間

9:00~21:00

●情報ライブラリー利用時間

9:00~19:00

### 休館日

年末年始(12月29日~1月3日)、施設点検日(年10回程度)

●情報ライブラリー休業日

上記の他、毎週月曜日(祝日の場合は翌日も休業)、祝日(土日は除く)、整理期間

### 所在地・お問い合わせ先

〒461-0016 名古屋市東区上笠杉町1番地

ウィルあいちHP <http://www.will.pref.aichi.jp/>

●施設利用受付 指定管理者 コングレ・愛知グループ  
(ホール・会議室・宿泊室) 電話 052-962-2511

●情報ライブラリー 電話 052-962-2510

### 交通のご案内

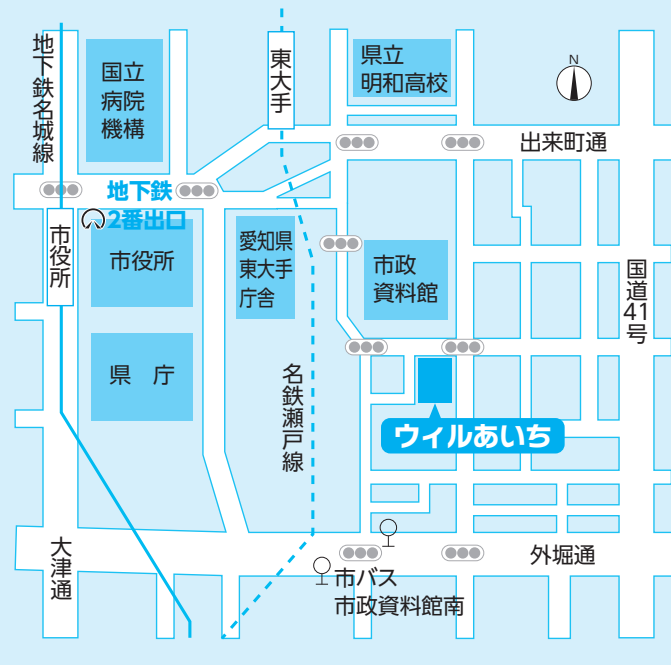
○地下鉄名城線「市役所」駅2番出口東へ徒歩約10分

○名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約8分

○基幹バス、名鉄バス「市役所」下車東へ徒歩約10分

○市バス幹名駅1「市政資料館南」下車北へ徒歩約5分

○駐車台数に限りがありますので公共交通機関の利用にご協力ください。(駐車場有料)



## 「ともに輝く情報誌」

# ウィルプラス

WILL PLUS  
No.77 2013

編集・発行 公益財団法人あいち男女共同参画財団

## 特集

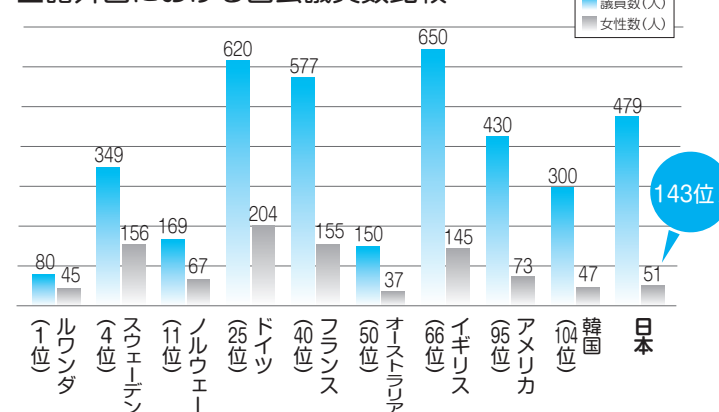
# 2013 今年の映画祭



## Let's study

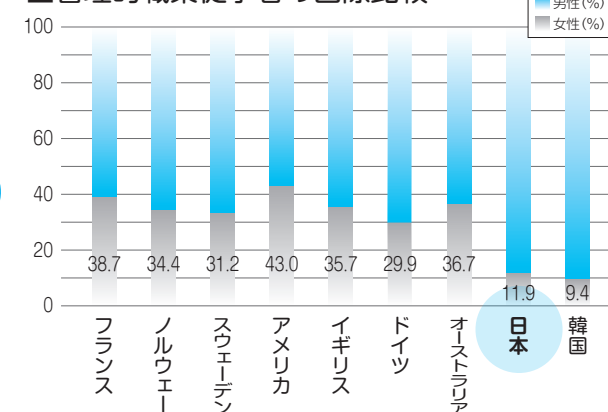
☆グラフの説明は最終ページ

### ■諸外国における国会議員数比較



出典:内閣府男女共同参画局「女性の政策・方針決定参画状況調べ(平成24年12月)中、諸外国における女性の政策・方針決定過程への参画状況-国会議員数の国際比較」日本は衆議院、外国は二院制の場合は下院。当財団が国を抜粋してグラフを作成。

### ■管理的職業従事者の国際比較



出典:内閣府男女共同参画局「女性の政策・方針決定参画状況調べ(平成24年12月)中、諸外国における女性の政策・方針決定過程への参画状況-管理的職業従事者」より当財団が国を抜粋してグラフを作成。

## Contents

女性監督とジェンダー	1	24セミナーレポート	6
あいち国際女性映画祭2013	3	ウィルあいちフェスタ開催します	6
見どころガイド	3	ウィルおじさん	7
団体紹介(公益社団法人愛知県看護協会)	4	表紙グラフ説明	7
情報ライブラリー BOOK CAFE	5	ウィルあいち案内	7

# 女性監督とジェンダー

明治学院大学教授 齊藤 綾子

今年で18回目を数える「あいち国際女性映画祭2013」は、8月31日(土)から9月8日(日)までの9日間、ウィルあいちを主会場に開催されます。本映画祭でのコーディネーターを務める齊藤綾子さんに、女性監督とジェンダーについて語っていただきました。

監督の性別は作る映画に影響するか。それはイエスでもありノーでもある。どんな映画でも監督の生まれてきた環境、性格、考え方など個人による資質が影響する。性別もその一つだ。だが、同時に多くの映画監督は「自分」の表現にこだわるのであり、男とか女とかいつも意識して映画を撮ることなどないだろう。その上、現場は男世界、さらに会社の意向、製作費や技術的な問題など様々な要因が絡んでくる。映画を作る過程は複雑極まる。

作家性の強い監督たちは、性別で括られて見られることに警戒心が強い。特に女性監督の場合、映画界という男社会の中で「女であること」をいかに感じさせないか、男と同じだと周囲や自分を納得させることを意識的・無意識的に行い、生き残ってきたに違いない。ゆえに、ことさら「女だから」と色眼鏡で見られることに抵抗感を持つ人が多い。総じて、作家は他人やカテゴリーで語られることを嫌う。また、生物学的な性別と「らしさ」、つまりジェンダーとして分類される特性は本来別ものであり、男でも女らしく、女でも男らしいことは多々あり、いわゆる芸術家と言われる人々にはとりわけこうした傾向が強い。

それでも、女性監督という尺度にこだわるのはなぜか。一つには、このように映画界が男社会であるからこそ、意識的に女性を前面に出す監督がいるからだ。もちろん、「女を売り物にする」などという浅はかな考えでなく(それが必ずしも悪いとは思わないが)、例えば、スター田中絹代も監督としては、やはり心の奥底で今までの女性の描き方とは違う映画を目指していたように思える。また、60年代後半から70年代にかけてフェミニズムの意識が高まってきたときに、女性の社会的な現実を目を向けたり、女性の抵抗や「男の物語 (his/story)」ではなく「女の物語 (her/story)」を語ろうとする動きが出てきた。つまり、作り手に意識的に、女たちの映画をつくらうとした動きが見られたことである。例えば、フランスのアニエス・ヴァルダの『歌う女・歌わない女』は、『幸福』や『5時から7時までのクレオ』のようにただ女性を主人公にした映画からさらに発展し、フェミニスト映画を作ろうとした映画だといえよう。

もう一つの重要な視点は観客の視点だ。映画を見ているときに、多くの女性が「これは男から見た女だ」と感じたことがあるのではないか。もちろん、必ずしも作り手のジェンダーが作品そのものに強く出るとは限らない。逆の場合もあり、男なのに女の描き方がうまいと唸って

しまう監督もいる。成瀬巳喜男など代表例だろう。だが、調べてみると脚本が女性だったり、何らかの形で作る過程に女性が関わっている場合が多い。

逆に、映画を見ていてこれは絶対に女の監督ではないかと思う場合もある。それは、テーマが女性特有であるというより、映像の質や肌理に感じるときがあるのだ。例えば、脚本家でも男のように書く人もいるが、向田邦子が生理的ともいえるような感覚で女を巧みに表現したように、いくら監督が否定しようとも女性監督の映画にも同じような感覚を持つことがある。たぶん、それは監督自身が意識して作り出すものではなく、社会的・歴史的に一人の女として生きてきた「自分」がその作品に刻まれているからなのではないか。それは、社会的に「女らしい」といったジェンダーで規定されたものとは全く異なるものだ。

批評をする立場として、その「何か」を掘み、言葉にするのは至難の業である。だが、これはやはり女が作った映画だと思ふ映画が確かにあるのである。私がそれを感じたのは、シャンタル・アケルマンという監督の『ジャ

ンヌ・ディールマン コメルス河岸通り23 ブリュッセル 1080』(1975)という映画だ。フェミニスト映画として名高い傑作である。もう20年以上前になるが、深夜自宅でその映像を見ていた時に、映画などほとんど知らない母がテレビ画面にふと目を留め、「監督さんは女のね」と突然言った。その時に確信した。やはり何かあるのだと。

以来、私はやはり女性監督にこだわるのである。



吉田喜重・岡田茉莉子夫妻と記念撮影する女性監督たち  
(あいち国際女性映画祭2012レセプションから)

## Profile

齊藤 綾子さん



明治学院大学文学部芸術学科教授。専門は映画理論、特に精神分析理論、フェミニズム理論、ハリウッド映画論、女性映画論など。「映画

と身体／性」など編著書多数。映画全般に関する幅広い知識と映画をめぐる女性論には定評があり、さまざまな講演会、シンポジウム等でも活躍。2012年から、あいち国際女性映画祭コーディネーターを務める。『ふえみん・婦人民主新聞』で映画評も担当(隔月)。

# あいち国際女性映画祭 2013 見どころガイド

今年も8月31日から9月8日の日程で、あいち国際女性映画祭を開催します。18年目を迎える映画祭。見どころ満載です!

## 吉永小百合さん始め ゲストトークも盛りだくさん

デビュー以来日本映画を支え、現在も意欲的に活躍中の吉永小百合さんを始め、上映作品の監督さんなど、数多くのゲストをお迎えし、撮影にまつわるエピソードなどお話ししていただきます。

## 大島渚、高野悦子 両氏を偲んで

初代顧問として映画祭を支えていただいた大島渚監督と岩波ホール総支配人の高野悦子さん。惜しくも今年相次いで亡くなりましたが、映画祭ではお二人への追悼と感謝の想いを込めて作品を上映します。

## 講演会では こんな方が

女優として、妻として、大島渚監督と共に歩んでこられた小山明子さんには、生前の思い出や介護のお話を、また字幕翻訳の第一人者である戸田奈津子さんには、外国映画との深い関わりなどをお伺いします。

## アニメとシンポジウムの コラボ企画も

社会現象を巻き起こした「まど☆マギ」。その劇場版2作品を続けて上映後、会場の皆さんもまじえ、シンポジウムを行います。

## 「女優」を 考察

3本の名作日本映画を上映し、映画祭のコーディネーターを務める斉藤綾子さんが「大女優 若尾文子」を考察します。

## 第2回ショートフィルム コンペティション

国内外から公募で集まった女性監督による短編映画の中からノミネート作品を上映し、グランプリを決定します。

ウィルあいち会場のほか、今年は西尾市、弥富市、設楽町でも開催します。愛知初上映やドキュメンタリー、海外作品など、珠玉の上映ラインナップ、トークイベントなど趣向を凝らした企画で、皆様のお越しをスタッフ一同、心よりお待ちしております!!

詳しい内容は、映画祭ホームページ、映画祭ちらしでご確認ください。

映画祭ホームページ ▶ <http://www.aiwff.com>

映画祭Twitter ▶ [aiwff](https://twitter.com/aiwff)

お問い合わせ先 ▶ あいち国際女性映画祭事務局 電話 052-962-2520

### 御礼!

ポスター・チラシデザイン募集では、221作品の力作が集まりました。最優秀賞の作品は、映画祭のチラシ、ポスターでご覧ください。ご応募、ありがとうございました。

## 団体 紹介

このコーナーでは、県内で活躍する女性団体にスポットを当てて、その活動をご紹介します。今回の団体紹介は、公益社団法人愛知県看護協会です。名古屋市昭和区の高辻にある協会で、会長の中井加代子さんにお話を伺いました。

## 公益社団法人 愛知県看護協会



中井加代子会長

### 看護協会とは、どんな組織ですか?

愛知県看護協会は、1975年に保健師・助産師・看護師・准看護師の有資格者を会員とする社団法人として設立され、2012年からは公益社団法人に移行しました。看護の質の向上や、看護職が安心して働ける職場づくり、訪問看護など地域医療の推進を図る様々な活動を通じ、県民のより良い健康と福祉に貢献してまいります。会員数は昨年度末で32,814人となっています。

### 看護の質を向上させるために、取り組んでいることは?

看護職一人ひとりが各自の能力を高め、力を発揮できるよう看護の現場のニーズにマッチした研修・教育の機会を提供しています。今年度も協会内で70余りの研修を行います。認定看護師、認定看護管理者の養成も行っており、今年度から「訪問看護」の認定看護師教育も開始しました。

### 訪問看護認定看護師教育を開設された理由はなんですか?

日本は急速に高齢社会へと向かっています。これからの在宅医療の充実という社会のニーズに応えるためには、在宅ケアチーム内でリーダーシップを発揮できる専門性の高い訪問看護認定看護師を増やしていくことが必要と考えました。

### ほかに訪問看護や在宅ケアで力を入れていることはありますか?

愛知県看護協会では、訪問看護ステーションかつじ、居宅介護支援事業所かつじを運営しています。訪問看護ステーションでは24時間体制で、高齢者のみでなく難病の方や小児の訪問看護も積極的に行っています。居宅介護支援事業所では、看護職の資格を持つケアマネジャーが医療の幅広い知識や療養生活の視点を活かして支援しています。また、地域の皆様が安心して安全に暮らせるよう、訪問看護や地域医療に関する講演会や療養生活を支援する看護相談の実施、リーフレット「訪問看護の活用のしかた」の作成配布など、さまざまな普及活動を行っています。

### 看護職不足を補うために、何か手段を講じていますか?

働く看護職の絶対数は不足しています。そこで、すでに家庭に入っている看護有資格者に登録してもらい、求人先への紹介を行う「愛知県ナースセンター」が、看護職のハローワークの役目を担っています。昨年は約2,400人の看護職に登録していただきました。子育て中での就業条件などで調整部分も多く就職に結びつかないなどクリアすることは多いですが、できるだけ多くの方の復職の道を広げられるよう努力しています。

### 最後に、男性看護職の比率は?

看護職は、圧倒的に女性の比率が大きく、男性は全体の5%ほどです。しかし、男性の看護職は着実に増加しており、今後、就業環境の改善など男性看護師を支援していくことも重要な課題と考えています。通常の男女共同参画とは逆ですね。

多忙な執務の合間をぬってお話しを伺いましたが、熱心に力強く、またやさしく包み込むようで、「人のそばへ。街の中へ。看護という、使命。」という協会の理念そのままのインタビューでした。

問い合わせ先 公益社団法人愛知県看護協会 名古屋市昭和区円上町26番18号  
電話 052-871-0711 (代表) HP <http://www.aichi-kangokyokai.or.jp/>

今知りたい、今読みたい！本 —「憲法」と女性—

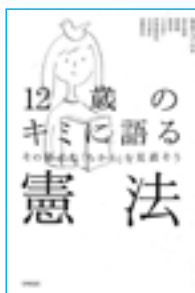
BOOK CAFEでは、今知りたい・読みたい本を紹介します。今回のメニューは「憲法と女性」です。日本国憲法の改正について注目が集まっています。あなたは憲法に何が書かれているか知っていますか？よく知らない…そんな方にぴったりの本や、昨年逝去された、憲法の起草に関わったベアテ・シロタ・ゴードンさんに関する本と雑誌記事を紹介いたします。

●憲法について知りたい方に●



『憲法が教えてくれたこと』  
伊藤真著 (幻冬舎ネッサンス)

うたこが高校の入学祝いに祖父から贈られたのは日本国憲法の本だった。「自分らしく自由に誇りをもって生きていい」と憲法からのエールを受け取ったうたこは駅伝を走る…。



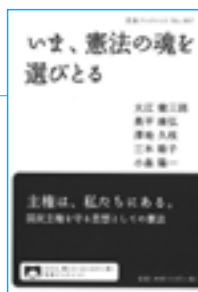
『12歳のキミに語る憲法』  
福島みずほ編 (岩崎書店)

明日の主権者として生きていく若者に憲法のもつ「ちから」を伝えるために、働く権利、生存権、男女平等、平和主義など、憲法の考え方を丁寧に語る。憲法全文も掲載。

『いま、憲法の魂を選びとる』

大江健三郎ほか著 (岩波書店)

憲法は私たちの生活の何を守り、何を与えてきたのかふり返り、私たち自身の生き方をどのような形で選ぶのか問いかける。



●憲法起草に関わったベアテ・シロタ・ゴードンさん●



『ベアテと語る「女性の幸福」と憲法』  
ベアテ・シロタ・ゴードン述 (晶文社)

GHQ民政局の職員として憲法の起草に参画したベアテさん。憲法誕生の舞台裏と、日本の女性に寄せる熱い想いを聞く。



『女性情報 2013年2月号』  
(パド・ウィメンズ・オフィス)

女性に関する全国・地方新聞記事を集めた雑誌。この号の特集ではベアテさんを偲び、創刊から26年間の記事を再掲載している。

ようこそ情報ライブラリーへ

大好評！ポイントカード

ウィルあいち情報ライブラリーで大好評の「ポイントカード」。たくさん借りてポイントを集めて、特典グッズをもらっちゃおう！

- 図書・視聴覚資料の貸出点数に応じてポイントを発行します。5点以上で1ポイント、10点以上で2ポイントです。
- 20ポイント・30ポイント・60ポイントで特典グッズを進呈します。期間限定のグッズもあるかも!?
- 有効期限を1年延長!26年3月30日(日)となりました。(特典グッズがなくなり次第終了します)
- ポイントが倍になる“Wポイントウィーク”も随時開催!館内のポスター、ホームページ、メールマガジン「ウィル・レター」で開催期間をお知らせしています。 ※この事業は、指定管理者コンプレ・愛知グループの自主事業です。

情報ライブラリーでたくさん借りて、ポイントを集めてくださいね!  
詳しくは、情報ライブラリーホームページの「トピックス」をご覧ください。  
<http://www.will.pref.aichi.jp/jyoholibrary/>

問い合わせ先 ウィルあいち情報ライブラリー 電話 052-962-2510

～24セミナーレポート～ (会場:ウィルあいち)

昨年度開催したセミナーの中で、特に好評だったものをピックアップしてご紹介します。



公開講座

「地域を変える、日本を変える!～男女共同参画は社会のノーマライゼーション～」

1月26日(土)  
開催

鳥取県知事、総務大臣を歴任し、現在慶應義塾大学教授である片山善博さんが、ご自分の子育て体験などを通して、男性参画がいかに大切かを、ジョークを交えながら、2時間講演されました。特に、日本社会に欠けている「自立」の重要性には参加した方々も大いに頷くところでした。ユニークな経験談も好評でした。

婚活応援!

料理教室でコミュニケーション

2月2日(土)  
開催

参加人数男女各8人という小規模な形で実施する、財団初めての婚活応援セミナーでしたが、出会いのきっかけのお助けにはなったようです。講師の名古屋クッキングスクール主宰の杉浦友祐先生の説明を聞きながら料理を作り始め、少しずつ皆さんうちとけて、話しはじめました。ご参加の皆さん、その後いかがお過ごしでしょうか?

40歳から始める

「これからの人生設計」

2月10日(日)  
開催

午前と午後の2カリキュラムで、人生の終焉まで自分らしく生きるための準備の参考となるセミナーを開催しました。午前は、牧野FP事務所代表の牧野寿和さんから、老後に必要なお金の額や上手な資金の運用などの説明とともに、具体的に収支をイメージするためのグラフの作成方法を教えていただきました。午後は、遺品整理会社キーパーズ代表取締役の吉田太一さんを講師に迎え、キーパーズ制作のDVDを見た後、孤立死をしない、また、させないためにはコミュニケーションが重要であるというアドバイスをいただき、「おひとりさまでもだいじょうぶノート」を使って人生の終焉を心置きなく迎える心の準備や身の回りの整理、また残された家族への対処など伺いました。厳しい内容ですが、どうしても避けて通れないこととして、参加者の皆さんも真剣に聞き入って見えました。

財団では他にも、スキルアップセミナー、父と子のセミナーなど様々なメニューで今年もセミナーを実施します。詳しくは、財団ホームページ、チラシなどご覧ください。財団HP ▶ <http://www/aichi-dks.or.jp>

\\ウィルあいちフェスタを開催します\\

今年も全館あげて、「ウィルあいちフェスタ」を開催します。  
開催日は、11月9日(土)の午前9時から午後4時30分までです。  
当日は、さまざまな団体が、趣向を凝らした企画を館内で展開。楽しさ満載です。  
秋の1日、ウィルあいちでゆっくりお過ごしください。  
詳しくは、下記お問い合わせ先まで。

問い合わせ先

公益財団法人あいち男女共同参画財団 総務情報課  
電話 052-962-2505 FAX 052-962-2477